

GREEN Rader

全農長野県本部情報 グリーンリーダー

2025

8

Vol.555



A-Reports 「全農長野県本部会員会議」開催

重点事業方針

A-Policy

くらし支援部 燃料・ホームエネルギー課の取り組み

A-Reports

・東京・大田市場で南佐久野菜のトップセールスを開催	4	・信州の農産物総合宣伝会	8
・信州産農産物がファミマの6品に登場	4	・子会社等が定時株主総会、通常総会を開催	8
・最優秀賞1席にJA ながの・美雪ファーム樋口		・新採用職員紹介	9
～「第75回信州肉牛松本即売会」開催～	5	・出羽海部屋が木曽合宿 県産農畜産物を贈呈	10
・下伊那子山羊市場 年に一度の共進会とセリ	5	・8月のラジオ番組表	10
・長野県夏の高原野菜フェアを開催	6	・編集後記	10
・豊洲市場「フレッシュラボ」でレタスの試食宣伝会	6		
・「ほくしんJA農機フェア」開催	7		
・「全農長野 僕らはおいしい応援団」がJAタウンアワード3連覇!	7		



光と風と水のハーモニー

JA全農長野

GREEN *Rader* 01

会員会議では長谷川県本部長より「令和6年度事業報告」を行い、質問・意見無く原案どおり承認されました（Ⅱ表紙右上）。また、本年度改選となる県本部運営委員会委員の選任投票の結果、全員の賛成で原案どおり選任されました。

15名の運営委員は別表のとおりとなりました。

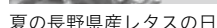
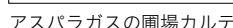
令和6年度は、世界的な食料需要の増加や地政学的なリスクの高まりにより、食料安全保障がクローズアップされるなか、生産資材価格の高騰、頻発する異常気象による農畜産物生産への影響、さらには物流費の上昇など、農業を取り巻く環境は

職 務	氏 名	所 属 J A ・ 役 職	備 考
会 長	神農 佳人	J A グリーン長野	会 長
副会長	眞島 実	J A 信州うえだ	代表理事組合長
委 員	津金 一成	J A 長野ハケ岳	代表理事組合長
委 員	高柳 利道	J A 佐 久 浅 間	代表理事組合長
委 員	小平 淳	J A 信 州 諏 訪	代表理事組合長
委 員	西村 篝	J A 上 伊 那	代表理事組合長
委 員	中村 彰	J A みなみ信州	代表理事組合長 (新任)
委 員	亀子 宗樹	J A 木 曽	代表理事組合長 (新任)
委 員	田中 均	J A 松本ハイランド	代表理事組合長
委 員	北沢 泉	J A 洗 馬	代表理事組合長
委 員	宮澤 清	J A あ づ み	代表理事組合長
委 員	武井 宏文	J A 大 北	代表理事組合長
委 員	栗林 和洋	J A グリーン長野	代表理事組合長
委 員	望月 隆	J A 中 野 市	代表理事組合長
委 員	宮澤 清志	J A な が の	代表理事組合長

こうしたなか、全農長野は「中期事業計画（令和4年～6年度）」の最終年度として、①持続的な農業生産基盤づくりによる農業生産量の維持拡大 ②販売力強化とコスト低減による農家組合員の手取り最大化 ③JA経済事業の収支改善と活気あ

生産振興事業では、生産

基盤の維持強化対策として、マルシェ・ケットニーズに基づく産地品目別振興や生産安定に向けた施設化を推進しました。また、生産性・収益性の向上を目的とした圃場カルテシステムは、アスパラガスで運用を開始しました。生産販売事業では、「ぶどう三姉妹®」「りんご三兄弟®」のブランド展開や、「夏の長野県産レタスの日」の記念日制定による連動企画、SNS等を活用した消費宣伝活動を展開しました。また、生産コスト高止まりの状況を踏まえ、卸売会社や実需者に対して、適正な小売価格の設定についての理解醸成に努めました。生産購買事業では、段ボ



ル箱のショートフラップ化や低コスト組箱への切換え等による資材コストの引き下げに取り組むとともに、農機「県域推奨型式」による価格抑制、中古農機の仕入れ強化による農機コストの低減に努めました。畜産酪農事業では、県本部生産基盤強化対策による生産者経営支援を継続し、子会社・子法人と連携した信州産ブランドの肉牛・肉豚の販促強化、安心安全な信州産牛乳・乳製品のPRに努めました。新たな食肉処理施設のあり方については、(株)長野県食肉公社を事業主体とし、東筑摩郡朝日村を移転候補地とした事業計



低コスト段ボールの輸送試験



SNSを活用したフルーツフォトコンテスト

画(素案)を策定し協議を進めました。燃料事業では、農業生産用燃料に対する支援対策を実施し生産コスト抑制に努め、生活事業の「JAタウン」では、新規出店者と出品数確保推進をはかりました。また、生産資材価格高騰の影響緩和を目的とした県本部独自の支援対策をはじめ、JA特別奨励、JA事業基盤強化対策への奨励

■持続可能な農業に向けた基本農政の確立と国民理解醸成に向けた緊急決議が満場一致で採択されました。

持続可能な農業に向けた基本農政の確立と国民理解醸成に向けた緊急決議

我が国農業情勢は、生産資材の価格の高止まりが依然として続く一方で、気候変動等による自然災害の多発化、食料自給率の低迷と農業者の急減といった様々な課題が山積している。加えて、令和の米騒動に代表されるように、食料に対する世間の関心も高まっており、安定的な食料供給へ向けた農畜産物の適正な価格形成の早期実現が求められている。

こうした状況の中、農政の憲法とされる食料・農業・農村基本法が昨年改正され、改正後初となる食料・農業・農村基本計画の下で、5年間の農業構造転換集中対策期間を迎えている。

JAグループでは、これまでも政策提案・要請活動を積み重ねてきたが、今後も農業者が将来に展望を持って農業を続けることができるよう、改正基本法及び基本計画の実効性を確保するための万全な施策を講じるとともに、初動5年間の構造転換を中心に、食料安全保障の確保に向けた実践の取り組みを強力に推進する予算総額の増額の実現を政府・与党などに強く求めていく。

また、食料安全保障の確立や農畜産物の適正価格を実現するためには、国民一人一人の食と農に対する理解醸成と行動変容が不可欠である。このため、JAグループでは地元住民をはじめとする消費者の共感を醸成し、地元産農畜産物の選択・購入といった行動変容につなげるための「国消国産運動」に、グループの総力を挙げて取り組んでいくこととする。

本年は新たな中期3カ年計画のスタートの年である。農業やJAの組織・事業等を取り巻く環境は厳しさを増しているが、こうした状況だからこそ、我々は協同の力を発揮し、組織内外に理解・共感される新たなビジョンを作り上げ、今後も総合事業体として、農業と地域社会に根差した組織としての社会的役割を果たしていく。

以上、決議する。

令和7年6月26日
JA長野中央会・各連合会
通 常 総 会

等、総額11億3,700万円を県内JA・組合員へ還元し、農業経営の安定・継続を支援しました。

以上の結果、令和6年度の供給販売高は、夏場の記録的な高温や干ばつ、局地的な豪雨など気象変動の影響を受けたものの、米、青果物の

販売単価が高値で推移したことなどにより、2,784億円(計画比103%)、税引前当期利益は、継続的な事業管理費の削減(計画比92%)と事業運営の効率化に努め、7億3,900万円(計画比370%)となりました。

燃料・ホーム
エネルギー課

くらし支援部 燃料・ホームエネルギー課の取り組み

「JAうちエネポータル」の取り組みについて

「JAうちエネポータル」は、ホームエネルギー事業（LPガス・配達灯油・JAでんき）の利用者向けのポータルサイトです。登録することでパソコンやスマートフォンから、いつでもどこでも利用実績を確認できます。また、JA祭や展示会等のイベント情報などのお知らせを配信する機能も備えています。

JA全農長野燃料・ホームエネルギー課では、登録会

員数は14JAとなり、会員数は、令和6年度単年で14,287件、令和6年度末累計で16,182件まで拡大することができました。令和7年度は登録会員20,000件に向けて、各JAでチラシ配布や広報誌への掲載、利用者への訪問時の推進活動を続けます。令和7年9月末までの「みんなうれしい！キャンペーン」では、新規・既存そ

れぞれの登録者に景品を進呈し、会員の拡大と固定化に取り組んでいます。同時にJAうちエネポータルの情報配信機能を活用したダイレクトマーケティングとして、登録者に向けた「くらしに役立つ情報」や「キャンペーン・イベントのご案内」の配信により、お客様満足度の向上に取り組めます。

燃料・ホームエネルギー課では、

JAうちエネポータル
のご登録はこちらから
<https://jazzn-sscp.com/uchiene/>



員数の拡大に向けて、令和6年度より本格的な推進に着手しました。これまで、LPガス・配達灯油等の利用実績や各種キャンペーンのご案内はハガキやチラシの配布によりお知らせしていましたが、ポータルサイトから閲覧できる利便性や紙媒体の削減による環境に配慮した取り組みとしてPRをすすめた結果、取

LPガス・配達燃料油・JAでんきの料金やお得な情報をいつでも確認いただけます！！

「JAうちエネポータル」登録拡大中！！

ご利用無料

ご利用明細
JAでご利用いただいた月々の燃料代の使用量やご利用料金をご確認いただけます。インボイスに対応した明細書が発行できます。

お得情報
JAで実施するキャンペーンや展示会等のお得な情報を配信いたします。

配信情報
LPガスご利用に関する重要なお知らせ等をお客様個別にご案内いたします。

QRコードもしくはweb検索してアクセス！

JAうちエネポータル

※「@ja-uchiene.mn.zennoh.or.jp」からのメールを受信できます。ドメイン設定をお願いします。※パソコンで閲覧する際のブラウザは「MicrosoftEdge」あるいは「GoogleChrome」を推奨しています。※まれにご利用出来ない場合があります。※画像はイメージです。

2025年9月末までにご登録されたお客様にもれなく！

QUOカードPay 200 円分プレゼント企画

※抽選結果は「JAうちエネポータル」にご登録のメールアドレスへの送付をもって代させていただきます。
※本キャンペーンは予告なく終了させていただく場合がございます。

「JAうちエネポータル」登録方法

登録に必要なもの ①メールアドレス ②ガスの検針票（ハガキ）または灯油の納品書

STEP 1
JAうちエネポータル
上記のQRコードを読み取り、サイトにアクセスします。

STEP 2
「新規会員登録はこちら」を押します。

STEP 3
メールアドレスを入力します。
利用規約に同意後、「メール送信」を押します。

STEP 4
Eメールが届くので、「会員登録URL」を押します。

STEP 5
お客様番号（パスワード等）の「確認」を押します。

STEP 6
登録完了後、届いたEメールに記載されているログインIDとSTEP5で登録したパスワードを入力しログインしてください。

契約を複数お持ちのお客様は1つのID上で確認できます！

1 ログイン後に上段メニュー欄「ご契約情報」を選択します。

2 「契約情報一覧」ページより、「契約情報の追加」を選択し、番号を入力します。

3 「ご利用明細」ページにて、登録した契約を確認できます。

「JAうちエネポータル」を活用したホームエネルギー提案をJAと連携します。

(東京販売事務所)

東京・大田市場で南佐久野菜のトップセールスを開催

南佐久野菜協議会と関係する5町村は7月5日(土)、東京都中央卸売市場・大田市場において高原野菜をPRするトップセールスを開催しました。

南佐久野菜協議会は、J A長野八ヶ岳・J A川上物産・J A川上そ菜販売の3つのJ Aにより構成されており、小海町・川上村・南牧村・南相木村・北相木村の5つの町村にまたがる広域で高原野菜の栽培を行っています。

南佐久は夏野菜の生産量が全国でもトップクラスで、特にレタス・キャベツ・白菜などの高原野菜が盛んに栽培されており、鮮度が良く、高品質な高原野菜は市場関係者の中でも高い評価を受けています。

トップセールスには5町村の町長・村長・副村長、3 J Aの組合長が出席し、代表して小海町の黒澤弘町長、J A長野八ヶ岳の津金一成組合長が、出荷最盛期を迎えようとしている高原野菜の魅力を市場関係者に向けて力強くアピールしました。



『ななちゃん』印の箱にレタスを入れて配布

お二人の挨拶の後には、南佐久野菜協議会のキャラクター『ななちゃん』印の箱に入ったレタスを市場関係者に配布しました。

J A全農長野東京販売事務所は、引き続き長野県産農産物の積極的なPRに努めてまいります。

※表紙下 (左から) 全農長野・小林博生産販売部長、J A川上物産・油井拓也組合長、J A川上そ菜販売・高橋石也組合長、J A長野八ヶ岳・津金一成組合長、東京青果㈱・川田光太社長、東京荏原青果㈱・樋口伸雄社長、小海町・黒澤弘町長、南牧村・有坂良人村長、南相木村・中島則保村長、北相木村・井出利秋村長、川上村・中嶋昌哉副村長、全農長野東信事業所・手島英雄所長

(生産販売部)

信州産農産物がファミマの6品に登場

J A全農長野は㈱ファミリーマートと共同で信州産の農産物を使用した新商品を開発し、7月1日(火)より長野県と山梨県の約340店舗で販売が始まりました。

商品は、高原レタスを使った「レタスマックス」、アスパラガスを使用した「アスパラピラフおむすび」と「和風ペペロンチーノ」、キャベツを使用した「回鍋肉弁当」、セルリーとキャベツを組み合わせた「うま塩セルリーと塩昆布キャベツ」、そしてシャインマスカットの果汁を使用した「牛乳パン」です。

新商品の販売を受けて同日、ファミリーマートとJ A全農、全農長野が長野県の阿部守一知事を表敬訪問し、新商品の発売を報告しました。その後、記者発表も行い、各メディアを通じて広くPRしました。

信州産食材の魅力を活かした地域限定商品を、この機会にぜひご賞味ください。



商品を試食する阿部知事



商品を持つ関係者

(左から) 県産業労働部・田中英児営業局長、全農長野・小林博生産販売部長、全農長野・根津彰寛副本部長、㈱ファミリーマート・染野博紀北陸・長野リージョン部長、㈱ファミリーマート商品本部・池内晴彦東日本地区MD部長、県産業労働部・山浦義晴営業局長

畜産酪農課

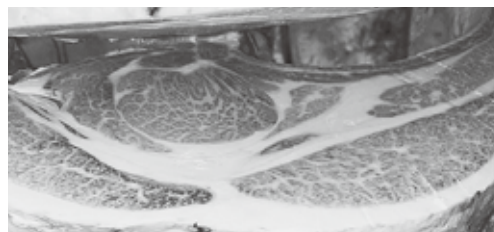
最優秀賞1席にJAながの・美雪ファーム樋口 ～「第75回信州肉牛松本即売会」開催～

JA全農長野畜産酪農部は7月5日(土)、(株)長野県食肉公社において「第75回信州肉牛松本即売会」を開催しました。県内肉牛肥育生産者により、丹精込めて育てられた和牛25頭・交雑種30頭が出品され、和牛では4等級以上比率が100%（25頭）、交雑牛では3等級以上比率が80%（24頭）と、日頃の飼養管理技術の高さを証明した即売会となりました。和牛は4等級以上のうち96%が信州プレミアム牛肉に認定されました。

出品された55頭の肉牛は翌日に開催された長野県農協直販(株)枝肉即売会において、長野県A・コープ(株)をはじめ、県内外のお取引先様に販売され、各店舗や飲食店の店頭に並びました。

第75回信州肉牛松本即売会 入賞者（敬称略）

賞	JA名	生産者	種別	性別
最優秀賞1席 (表紙右上の写真)	ながの	(農)美雪ファーム 樋口	和牛	去勢
優秀賞1席	松本ハイランド	桑原 睦雄	和牛	去勢
優秀賞2席	信州うえた	久保田美恵子	交雑種	雌
優良賞(順不同)	松本ハイランド	竹渕 洋平	和牛	去勢
〃	佐久浅間	高塚 賢一	交雑種	雌
〃	信州うえた	久保田 聖	交雑種	雌



最優秀賞1席のJAながの・美雪ファーム樋口の枝肉

即売会成績

種性別	平均枝肉重量	平均単価
和牛去勢	524.2kg	2,565円
和牛雌	473.1kg	2,264円
交雑種去勢	529.7kg	1,502円
交雑種雌	507.9kg	1,641円

畜産酪農課

下伊那子山羊市場 年に一度の共進会とセリ

JAみなみ信州畜産協議会、JAみなみ信州、JA全農長野は7月3日(木)、飯田市の三尋石集畜場で「第76回下伊那子山羊市場」を開催しました。

共進会には飯田下伊那地域の生産者が、この春に産まれた日本ザネン種の子山羊23頭を出品しました。畜産技術協会や県飯田家畜保健衛生所の職員が審査員となり、体格や乳房、生殖器の形質などを審査し、長野県知事賞に阿南町の城田政治さんの雌子山羊が選ばれました。

今年から生産者のSNSにてセリの案内をしたところ、遠くは九州や東北より購買者が集まり、表彰式後に行われたセリでは、1頭ずつ競り落とされました。雌23頭の平均価格は43,043円で最高価格は61,000円、雄6頭の平均価格は77,167円で最高価格は110,000円でした。全体の平均価格は50,103円で昨年より10,241円安い結果となりました。例年より出品頭数が少ないながらも活気あるセリとなりました。

今回で76回を迎えた伝統ある「下伊那子山羊市場」は、登録証付子山羊のみを扱う全国で唯一の競り市で、子山羊が離乳する7月に毎年開催しています。



共進会集合審査の様子

第76回下伊那子山羊共進会 入賞者名簿（敬称略）

	特別優秀賞	優秀賞	優良賞
雌の部	城田 政治 (阿南町) ※長野県知事賞	伊豆より夏 (阿南町)	城田 政治 (阿南町)
雄の部	北沢富久男 (飯田市)	伊豆より夏 (阿南町)	—

(名古屋販売事務所)

長野県夏の高原野菜フェアを開催

中京地区の卸売会社で構成する中部圏信州野菜協議会は6月27日(金)、南佐久野菜協議会の皆様とともに、名古屋市の中日ビルで「長野県夏の高原野菜フェア」を開催しました。

このフェアは、「7月2日夏の長野県産レタスの日」をアピールし、出荷最盛期の本県産夏野菜を中部圏の消費者に知っていただくとともに消費喚起、販売促進を目的に開催しました。

当日は、南佐久野菜協議会の高橋副会長（JA川上そ菜販売組合長）の挨拶と産地PRがあり、レタスをはじめとする多くの長野県産農産物を来場した消費者に購入していただきました。長野県産野菜の調理メニュー提案として「レタスの塩昆布和え」などの試食提供や来場者への料理レシピ配布、ノベルティのプレゼントを行い、大変賑わいました。

イベント前日にFMラジオでの本県産野菜のPR時にフェアの案内を行い、当日は長野県の協力により「アルクマ」が登場し、「信州力」とともに会場を沸かせたこともあり、様々な年齢層の方に楽しんでいただいたイベントとなりました。

JA全農長野名古屋販売事務所は今後も長野県産農産物の販売促進に努めてまいります。



南佐久野菜協議会の高橋副会長の挨拶



来場者で賑わう会場

(東京販売事務所)

豊洲市場「フレッシュラボ」でレタスの試食宣伝会



トップシーズンが始まった長野県産レタス

瞬間消滅レタス

- ①レタスを半分にカットし、たっぷりのお湯で20秒ほどゆでる
- ②器に盛り、オイスターソース大さじ1、ごま油小さじ2をかけて完成

JA全農長野東京販売事務所は6月30日(月)、豊洲市場場内にある「フレッシュラボ」でレタスの試食宣伝会を実施しました。

7月2日の「夏の長野県産レタスの日」をきっかけに県産レタスをPRすることを目的に、会場にレタス、サニーレタス、グリーンリーフレタス、ロメインレタスをディスプレイしました。



レタスなどが入ったプレゼントを受け取る関係者

同時に場内の関係者に「瞬間消滅レタス」の試食150名分を提供し、レタス1玉・リンゴジュース・レタスうちわをセットで150名に配布し、長野県産レタスのトップシーズンが始まったことをアピールしました。

(北信事業所 営農資材課)

「ほくしん」JA農機フェア」開催

長野県農協生産資材事業推進協議会農機専門部会北信支部は7月4日(金)、長野県農業大学校とJA長野県総合研修所で「ほくしん」JA農機フェアを開催しました。毎年開催している「JA農機&資材フェスタ」の会場であるエムウェーブが改装工事中のため、代替策として開催しました。

農業機械の展示即売、実演会、メーカーによるセルフメンテナンス講習の時間に合わせて30℃を超える猛暑の中、約400名が来場し賑わいました。

展示販売では農機メーカー13社が出展し、当日限定のフェア目玉機や農機担当者が厳選したJA推奨型式などラインナップを充実させました。実演会ではスマート農機を中心に今後の導入や拡大を推進しようと、それぞれの農業基盤に合わせた圃場で実演を行いました。中でもドローンの実演は観覧用のテントに収まりきれないほど来場者が集まり関心の高さがうかがえました。

全農長野北信事業所はJAとともに、今後も組合員に寄り添ったイベント等を企画し、検討・実施してまいります。



メーカーによる展示



トラクタの実演会

(くらし支援課)

「全農長野 僕らはおいしい応援団」がJAタウンアワード3連覇!



JA全農長野が運営する「全農長野 僕らはおいしい応援団」は、JA全農が運営する産地直送通販サイト「JAタウン」のJAタウンアワード2024「ショップアワード部門」で、2022・2023年に続き1位を受賞し、3連覇を達成しました。

JAタウンアワードとは、当該年度の年間売り上げ伸長率や新規商品出品数などを総合的に評価し、最もポイントを獲得したショップおよび売上金額が一番の商品を表彰するもので、「ショップアワード」と「商品アワード」部門があります。

全農長野くらし支援課では、既存の出品商品のアイテム強化に加えて新たな商品の出品に努めたほか、毎週末にメールマガジンで旬の信州農産物情報を発信し、より多くの方に利用いただけるようご案内しました。

授賞式は6月11日(水)に行われ、翌12日(木)にJR東京駅イベントスペースで開催されたJAタウンマルシェに当ショップも出店しました。大消費地圏で「旬の果物や野菜・加工品」の実販売をとおしてPRを行い、多くのお客様が購入されました。

売り上げ達成に加えて3連覇の受賞が重なり、ショップ運営の励みとなっています。当サイトをご愛顧・ご支援いただいている全国の利用者、そして信州が自慢する農畜産物を育て上げた農家・その農畜産物で加工品を製造する企業ほか関係する皆様にあらためて感謝申し上げます。

7月中旬よりスイカ、下旬よりモモ、8月中旬よりナシなど、旬の果物の収穫・出荷が続いています。今後も長野県産のおいしい農畜産物や加工品はJAタウン「全農長野 僕らはおいしい応援団」とご支持いただけるECサイトを目指してまいります。

「全農長野 僕らはおいしい応援団」
お買い物はこちら



(中信事業所 生産販売課)

信州の農産物総合宣伝会

J A全農長野中信事業所は6月21日(土)、県産農産物のおいしさを知ってもらい需要を拡大しようと松本駅前で「信州の農産物総合宣伝会」を開催しました。

会場では、出荷が本格化したレタスやセルリーの試食や県産コシヒカリと県オリジナル米「風さやか」の食べ比べのほか、パック牛乳やアルストロメリアも配布しました。イベントは試食とプレゼントのみで立ち寄りやすく、「お買い求めはお近くのスーパーで」と呼びかけました。

昨年に引き続き2年目の取り組みで、今回は10月に開催する予定です。



(改革推進・企画課)

子会社等が定時株主総会、通常総会を開催

J A全農長野子会社8社の定時株主総会と一般社団法人長野県農村工業研究所の通常総会が、令和7年6月に開催され、子会社においては令和6年度の事業を報告し、令和6年度計算書類ならびに附属明細について承認されました。

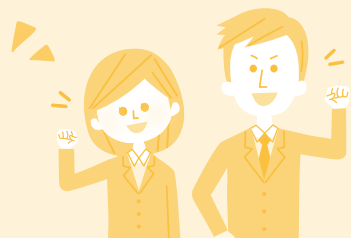
令和7年度の常勤取締役並びに常勤監査役・常勤理事は次の通りです。

会社・法人名	役 職	氏 名
株式会社全農長野計算センター	代表取締役社長	佐藤 利久
	取締役・業務改革室長	大口 広忠
株式会社J Aアグリエール長野	代表取締役社長	金井 久雄
	専務取締役（企画管理、物流事業）	竜野 竜
	取締役・企画管理部長（肥料事業・企画管理（財務担当））	竹中 弘樹
株式会社マイパール長野	代表取締役社長	小川 郁男
	常務取締役	岡村 修
長野県農協直販株式会社	代表取締役社長	平林 務
	専務取締役（コンプライアンス・品質保証室、企画管理部、食肉部統括）	青木 澄人
	常務取締役（食品部、鶏卵部統括）	高山 仁孝
	取締役・企画管理部長	富岡 靖
	取締役・食肉部長	松本 岩根
	取締役・食品部長	桐山 清志
	監査役	西澤 孝典
株式会社長野エコープサプライ	代表取締役社長	工藤 政文
	専務取締役（事業全般）	宮澤 秀実
	常務取締役（セレモニー事業担当）	太田 義夫
	取締役（管理・物流事業担当）	出澤 和幸
株式会社ジェイエイオート長野	代表取締役社長	依田 稔
	専務取締役（管理・県域事業統括）企画開発室長・県域事業部長	池田 伸一
	取締役（販売・整備事業統括）販売事業部長	小布施広紀
株式会社長野県食肉公社	代表取締役社長	村山 壮一
信州ミルクランド株式会社	代表取締役社長	佐藤圭一郎
	専務取締役	瀧本 勝成
	取締役・工場長	堀 健一
	取締役・品質保証部長	武居 正浩
一般社団法人長野県農村工業研究所	常務理事	井出 光俊

New face

新採用職員紹介

令和7年度の新採用職員を順次ご紹介します



くらし支援部



燃料・
ホームエネルギー課

おおくぼ ゆうせい
大久保 侑星

ガスタンクの前で撮りました。
ガスの勉強頑張ります。

はじめまして。くらし支援部燃料・ホームエネルギー課の大久保侑星と申します。

出身は伊那市で、ひたすら野球をやっていました。入会の二か月前に入籍をし、妻と共に暮らしています。休日は、妻とキャンプやドライブをしたり、たまにサウナで整っています。

担当業務のガスに関しては、一からの学びになりご迷惑かければかりではありますが、早く戦力になれるよう精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。

くらし支援課



くらし支援課

うちぼり けんせい
内堀 健成

JAタウンの「じゅー太」と
日々業務に励んでいます！

はじめまして。くらし支援部くらし支援課の内堀健成と申します。

出身は長野県御代田町で、信州のおいしい農産物や豊かな自然の中で育ちました。趣味はプロ野球観戦とドライブです。農業についての知識が浅く、至らない点が山ほどありますが、初心を忘れず一日でも早く皆様のお力になれるよう頑張っています。

よろしくお願いいたします。

東信事業所



生産販売課

やまぐち あおい
山口 葵育

菅平のレタスと撮りました！

はじめまして、東信生産販売課の山口葵育と申します。出身は佐久市です。

趣味は自然豊かな場所に訪れ、きれいな空気を吸うことです。最近はキャンプに興味があり、休日は、山登りや散歩に出かけたりしています。中・高・大学は県外だったため、久しぶりに長野県で生活ができることを嬉しく思います。

まだまだ未熟な点が多いですが、食を通して長野県の魅力をより多くの人に知っていただけるよう日々精進して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

東信事業所



野辺山駐在所

たてishi しんた
建石 真太

野辺山駐在所の新人です！
レタスとともに成長していきます！

はじめまして、東信事業所 野辺山駐在所の建石真太と申します。出身は伊那市です。

休日は、実家に帰って友達とバスケをしたり温泉に行ったりしてリフレッシュしています。

本会に入会してまだわからないことだらけで、農業に関しても未熟者ですが、一日一日を大切にして、皆様のお力になれるよう全力で頑張っていきますのでよろしくお願いいたします。

どうぞよろしくお願いいたします。

JA全農長野の事業現況

令和7年度6月末総供給販売高実績表 (単位:百万円、%)

品目	区分	当年度実績	計画比	前年比
生産振興課		0	—	—
野菜種苗センター		79	114	123
生産振興部計		79	114	115
米	穀	5,029	90	98
果実	花き	1,734	82	92
野菜	きのこ	12,194	94	96
営	業	2,193	94	107
生産販売部計		21,150	92	97
農業資材		2,408	101	102
肥料	農薬	2,622	108	103
農業機械		2,026	113	115
施設	住宅	696	116	71
生産購買部計		7,752	108	101
畜産酪農		7,636	102	100
三岳	牧場	80	103	112
S P F繁殖センター		68	84	105
ハケ岳	牧場	75	95	94
畜産酪農部計		7,859	102	100
燃料・ホームエネルギー		6,023	112	101
S S協同経営		1,920	122	101
くらし		1,840	100	89
くらし支援部計		9,783	111	98
長野県本部計		46,622	100	99

(内部販売高含む)

8月のラジオ番組表

放送日時	放送局	番組名	出演
8/12(火) 11:50	SBC ラジオ	坂ちゃんのずくだせふりてい内 「いいJAん家庭菜園」	J A 信州諏訪 JAファームふじみ店
8/27(水) 11:50	SBC ラジオ	坂ちゃんのずくだせふりてい内 「暮らしの応援団」	野菜きのこ課

■お詫びと訂正

本誌7月号に下記のように誤りがありました。読者の皆様および関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫びし、訂正させていただきます。

・7ページ左下の写真

(誤) セリ前に挨拶をする田中組合長(上段中央)

(正) セリ前に挨拶をする小林村長(上段中央)と下段左から田中組合長、高橋委員長、上條担当理事

出羽海部屋が木曾合宿 県産農畜産物を贈呈

J A 木曾とJ A 全農長野は、6月26日(木)から28日(土)に御嶽海関の地元木曾町で合宿をする出羽海部屋に、県産農畜産物を贈りました。25日(水)の歓迎式でJ A 木曾の亀子宗樹組合長と全農長野の佐藤剛管理部長が、目録と農畜産物のカゴ盛りを手渡しました。

贈呈した農畜産物は、J A 木曾産の「御嶽はくさい」「御嶽ぶなしめじ」をはじめ、信州パーク、エノキタケ、大粒ナメコ、レタス、ズッキーニ、セルリー、アスパラガス、ブロッコリー、スイカの合計112kg。

御嶽海関は「いつもありがとうございます。ここで皆さんから力をもらい、験が良い名古屋場所でがんばります」と力を込めました。



佐藤部長、御嶽海関、高崎親方、亀子組合長

グリーンリーダー
X(旧ツイッター)はこちら



グリーンリーダー
WEB版はこちら



編集後記

今年は暑い日が早い時期から続いたため、私の畑では夏野菜が早めに収穫できました。特にキュウリや馬鈴薯は例年よりも10日ほど早く収穫できました。暑さに加えて、春先に畑の保水性を高めるために多くの堆肥を施した効果もあったようです。

昨今はゲリラ豪雨や突然の突風によって農作物に大きな影響を及ぼすことが増えていますが、私の畑の玉ねぎ専用マルチもこの春の強風によって破損し、剥がれてしまいました。マルチの張り方が甘かったと反省していますが、自然の力は凄まじいものです。

マルチが剥がれた影響で、玉ねぎを収穫した後の除草作業が大変になりました。猛暑の中での除草作業を避け、なるべく涼しい時間に作業を行うように心掛けています。土にしっかりと根を張っている雑草を根こそぎ除去しますが、その繁殖力と生命力はまさに雑草魂と呼ぶにふさわしいものです。祖父母から受け継いだ鋤を使って雑草と格闘していると、もう少しあと一歩と除草作業をしながら前進してしまいます。加えて日焼け防止や蚊よけ対策の服装のため熱がこもりがちなので、作業時間を限定することに気を付けています。

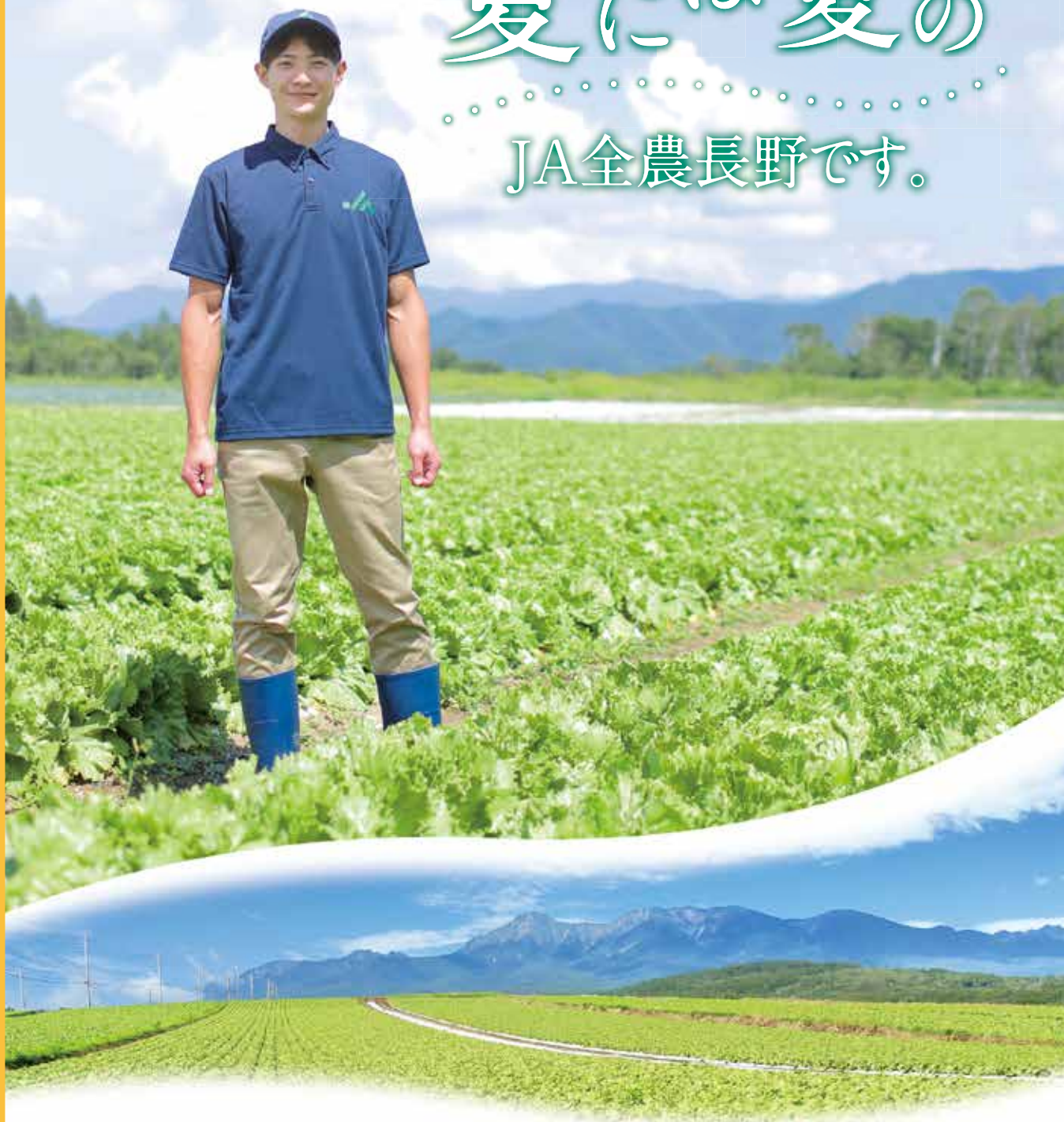
除草作業が完了した後は、小石や枝などを取り除き、苦土石灰をまきました。きれいになった畑と雑草の山を眺めながら、秋野菜の種まきや植え付けをどこにしようかと構想を練るこの頃です。

(丁)

夏には夏の

.....

JA全農長野です。



光と風と水のハーモニー

JA全農長野



光と風と水のハーモニー

JA全農長野



JA 全農長野ホームページ..... <https://www.nn.zennoh.or.jp>
インターネットで産地直送「JA タウン」..... <https://www.ja-town.com>

